

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講期間	担当講師
専門分野Ⅱ	老年看護学 援助論	1	30	2年次	4月	竹内佐代子
<b>授業概要</b> 老年期にある対象の生命と健康の維持、生活の QOL 向上を目指した看護の考え方や必要性を判断して看護を展開するための知識と技術を学ぶことをねらいとする。						
<b>到達目標</b> 1.高齢者の日常生活における基本的な援助について実施できる。 2.さまざまな健康状態や受領状況に応じた高齢者の看護について理解できる。 3.認知症のある高齢者の看護について理解できる。						
<b>使用教材</b> テキスト 系統看護学講座 「老年看護学」 (医学書院) 系統看護学講座 「老年看護 病態・疾病論」 (医学書院) 考文献等 国民衛生の動向 国民福祉の動向 高齢社会白書 その他						
<b>評価</b> 筆記試験、レポート評価 講義・演習の参加態度、レポート提出状況を評価の対象とする						
<b>授業計画</b>						
授業時間・回数	授業内容					方法
2時間・1回	1.高齢者と家族 1)家族形態の社会的変化 2)高齢者介護と家族問題 高齢者虐待の特徴と高齢者虐待防止法 3)家族のエンパワーメント 4)成年後見制度と地域福祉権利擁護事業 2.高齢者と社会システム 1)高齢者の社会参加 2)高齢者とソーシャルサポート (フォーマルサポートとインフォーマルサポート) 3)高齢者サービスシステム (1)高齢者ケアシステムを支える諸制度 ①医療保険制度 ②老人保険制度 ③介護保険制度 (2)高齢者ケアシステムに関連する諸制度 ①公的年金制度 ②生活保護制度 ③成年後見制度 ④地域福祉権利擁護事業：施設サービス					講義 演習
2時間・1回	3.高齢者の基本的援助 1) 高齢者の生活機能を理解する目的 (高齢者の特徴と ICF) 2) 高齢者の生活機能と包括的アセスメント (1)基本的日常生活動作 (BADL) (2)手段的日常生活動作 (IADL) (3)認知機能 (4)心理・情緒機能 (5)活動と社会参加 (対人関係) (6)生活環境 4.高齢者とのコミュニケーション 1)高齢者のコミュニケーション能力 2)高齢者のコミュニケーションを促す要素と阻害要因 3)高齢者とのコミュニケーションの方法 4)高齢者に特徴的な変調 (視覚障害、聴覚障害) (1)老人性難聴					講義

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講期間	担当講師
専門分野Ⅱ	老年看護学 援助論	1	30	2年次	4月	竹内佐代子
授業時間・回	授業内容					方法
	(2)失語症 (3)構音障害					
4時間・1回	5.高齢者の日常生活援助① 1)食生活と栄養 (1)高齢者にとっての食事の意義 (2)高齢者に特徴的な変調 ①脱水 ②摂食・嚥下障害誤嚥、 ③低栄養（タンパク質・エネルギー低栄養状態（PEM）） (3)栄養ケア・マネジメント (4)他職種との協働による栄養管理 2)排泄（便秘・排尿障害） (1)排泄障害（便秘・下痢・失禁） (2)排泄のアセスメント（排泄動作、排泄リズム） (3)排泄時のケア【実技：高齢者の排泄援助】					講義 実技
4時間・2回	6.高齢者の日常生活援助② 1)清潔・衣生活と身だしなみ (1)高齢者にとって特徴的な変調 皮膚の老化と皮膚疾患（乾燥・浸軟・白癬） (2)変調のアセスメントと看護（白癬と疥癬、掻痒症、褥瘡） 2)清潔・衣生活の援助 (1)清潔の援助【実技：義歯の取り扱い】 (2)身だしなみ・衣生活の援助（ひげそり・爪切り） (3)入浴行動に伴う危険性					講義 実技
4時間・2回	7.高齢者の日常生活援助③ 1)歩行、移動、姿勢保持のための援助 2)転倒転落の発生要因 高齢者の特徴（骨粗鬆症）、パーキンソン症候群 3)転倒予防のためのアセスメント 4)転倒予防のための援助 5)転倒により引き起こされる問題と援助（廃用症候群） 6)休息と睡眠（不眠睡眠障害） (1)高齢者と生活リズム (2)高齢者にみられる睡眠障害 (3)生活リズムのアセスメントとケア 8.高齢者の日常生活援助④ 1)生きがいもてる身近な場所への社会参加への援助 2)運動とレクリエーション【レクリエーション計画立案】 (1)運動の意義と目的 (2)高齢者のレクリエーション					講義 演習
4時間・2回	9.治療を受ける高齢者の看護 1)薬物療法を受ける高齢者への援助 (1)加齢に伴う薬物動態の変化 (2)服薬管理とリスクマネジメント コンプライアンスとアドヒアランス 2)手術療法を受ける高齢者への援助 (1)麻酔・手術侵襲が高齢者に与える影響 (2)高齢者に起こりやすい術後合併症の予防と援助 術後せん妄を含む					講義

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講期間	担当講師
専門分野Ⅱ	老年看護学 援助論	1	30	2年次	4月	竹内佐代子
授業時間・回	授業内容					方法
	10.受療形態に応じた高齢者への看護 1)入院時の看護 2)外来診療時の看護 3)検査時の看護 4)退院計画と退院時の看護					
2時間・1回	11.高齢者の終末期の看護 1)終末期の概念と高齢者の晩年期の特徴 2)終末期における行き方や死の迎え方の意向 (アドバンスディレクティブ、リビングウィル) 3)終末期看護 (1)身体徴候のアセスメントと援助 (2)苦痛の緩和と安楽への援助 (3)精神的苦痛や混乱に対する援助					講義
1時間・1回	12.高齢者の安全を守る 1)高齢者に多い事故への対応 (1)住環境と転倒・転落 (2)熱傷 (3)窒息 (4)感染 2)急変・救急時の対応 3)災害時の対応 (1)避難・誘導方法 (2)避難所での生活と健康の維持 (3)福祉避難所における援助					講義
6時間・3回	13.認知症の理解 1)認知症とは (1)加齢による認知症の病態と要因 (2)環境と行動・心理症状 (3)認知機能の評価 (4)認知症高齢者の日常生活支援 2)認知症高齢者のアセスメント 3)行動・心理症状と生活への影響 (1)コミュニケーション (2)生活環境の整え方 (3)食事 (4)清潔 (5)排泄 4)特徴的な行動や心理症状に対する支援 (1)攻撃性 (2)妄想 (3)幻覚 (4)徘徊 (5)不潔行動 (6)多動 5)認知症高齢者の権利擁護のための社会的支援・制度 6)認知症高齢者の家族への支援とサポートシステム 14.認知症高齢者への対応の実際 1)特徴的な行動や心理症状に対する関わり方の実際 2)認知症高齢者のリハビリテーション 3)認知症高齢者のセーフティマネージメント					講義
1時間・1回	筆記試験 45分間					
備考						